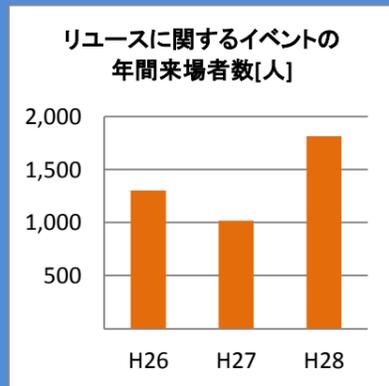
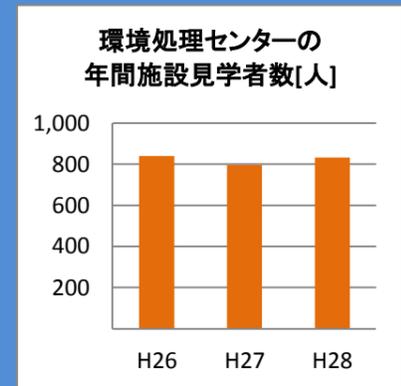
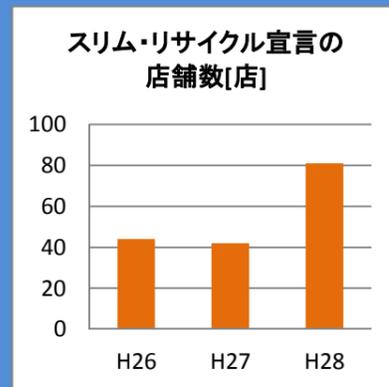
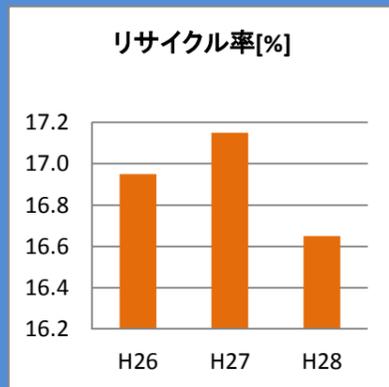
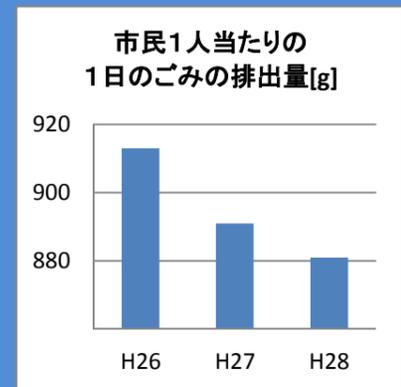


# 基本目標⑤

# 循環型社会を創る

総合評価	A	主な実績及び評価の理由 ・3R～各項目共、一定の成果あり～ 以下のとおり、3Rの各項目で一定の成果が上がっているものと思われる。引き続き、周知啓発を含めた各種取組を進める予定。 減量（リデュース）：市民1人当たりの1日のごみ排出量は徐々に減少。 再利用（リユース）：リユースフェスタの参加者が増加傾向。 再資源化（リサイクル）：スリム・リサイクル宣言の店舗数は大幅に増加。  （参考）水資源の有効活用～地下水の涵養～ 透水性舗装、雨水浸透柵や雨水貯留施設の整備により、雨水の有効利用及び地下水の涵養を進めています。雨水浸透柵や雨水貯留施設は地下水の涵養のほか、治水対策にも貢献するため、今後も引き続き設置に関する指導や補助を実施する予定。 また、今後の歩道更新に合わせて透水性舗装を順次実施する予定。  以上、取り組みは順調であることから、総合評価を「A」とした。

指標	目指す方向(目標)	26年度実績	27年度実績	28年度実績	28年度評価
市民1人当たりの1日のごみ排出量[g]	↓ (900)	913	891	881	A
リサイクル率[%]	↑ (☆19.6)	16.9	17.1	16.6	B
スリム・リサイクル宣言の店舗数[店]	↑ (50)	44	42	81	A
環境処理センターの施設見学者の年間合計[人]	↑ (950)	840	796	833	B
リユースに関するイベントの年間来場者数[人]	↑ (300)	1302	1018	1815	A



## 主な実績紹介

### リユースフェスタ

粗大ごみとして環境処理センターに運ばれた自転車や家具類を再生品として有効利用するため、修理・展示し希望者に無料または有料で提供。ごみとして捨てられた物でも修理をすることで利用できることを市民に啓発するとともにごみの減量化に貢献している。

リユースフェスタの様子



### スリム・リサイクル宣言の店

「スリム・リサイクル宣言の店」とは「ごみ減量化・再資源化に取り組む店舗、事業所等」として市が指定した店舗、事業所等を指す。

目的としては、以下の2点が挙げられます。

- ・ごみ減量化・再資源化に向けた取組拡大
- ・市、市民及び事業者が一体となった運動展開

平成29年3月末現在、市内では81店舗を指定しており、指定した店舗には以下のステッカーを掲示する他、本市ホームページで紹介している。

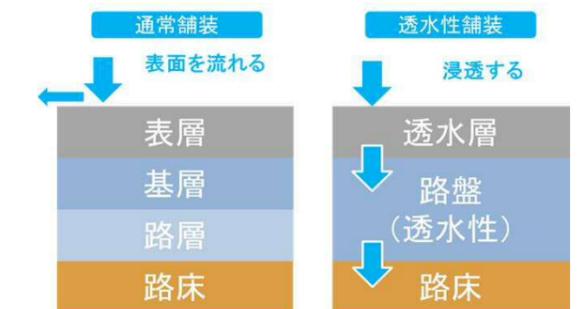


### 透水性舗装

透水性舗装とは、道路に降った雨水を舗装内の隙間から地中へ逃がす機能を持った舗装であり、地下水の涵養や歩行者への水の跳ね返り防止に効果がある。

本市では、歩道の改修時に透水性舗装を施すこととしており、市内全域で透水性舗装を随時実施している。

通常舗装と透水性舗装の違い



各課施策・取組状況一覧

施策の方向	施策	個別施策・取組	担当課	参考		28年度実績 (又は施策進捗を表す指標等)	29年度以降の取組内容(改善案) ※今年度以降に実施する取組み(改善案)について、必ず記入下さい。	
				26年度(概要)	27年度(概要)			
				実績	実績			
ごみを減らし、資源を繰り返し利用する	マイバックの持参やごみ出しルールの徹底などにより、ごみの減量に努める	①マイバックキャンペーン ②ごみ収集カレンダー・家庭ごみハンドブックの配布 ③「住みよい芦屋をつくる」ポスター展	環境施設課	①啓発用チラシの配布(商工会女性部、芦屋市消費者協会との共催) ②ごみ収集カレンダーの各戸配布及び市内転居者への家庭ごみハンドブックの配布 ③小中学生を対象に、ポスターを募集(応募数596点)	①5月15日、16日にリユースフェスタ(環境処理センター内)と同時開催した。啓発用チラシを配布した。11月3日に環境フリーマーケット(JR芦屋駅前)と同時開催した。啓発用チラシの配布と意識調査を行った。 ②見やすく改善したごみ収集カレンダーの各戸配布及び市内転居者への家庭ごみハンドブック(平成27年6月作成)の配布した。 さらに、年末ごみの収集日を拡充し市民の利便性向上を図るとともに、その機会に併せて、広報紙やHP等を活用し、ごみ出しルールの徹底へ向けた啓発を強化した。 ③小中学生を対象に、「環境問題・ごみの減量化・マイバック持参運動等」に関するポスターを募集(応募数:927点)	①11月3日のフリーマーケット、並びに2月17日・18日開催のリユースフェスタと同時開催した。 ②ごみ収集カレンダーの各戸配布及び市内転居者への家庭ごみハンドブックの配布 ③小中学生を対象に、「環境問題・ごみの減量化・マイバック持参運動等」に関するポスターを募集(応募数:688点) ②広報あしや環境特集号1面において、新たな視点により、市民の役割である「ごみステーションの管理」への感謝と「一人ひとりのごみ出しルールやマナー」へのご協力をお願いの趣旨の記事を掲載。 また、広報チャンネル「あしやトライアングル」において、計画的に撮り溜めた収集現場や環境処理センターでの選別作業の映像を使用するとともに、現場作業員自らメッセージを発信する新たな試みによる特集番組を制作し、ごみ出しルールの啓発を推進した。	②平成29年度に家庭ごみハンドブックを作成する際は、既存のものを修正するにとどまらず市民の目線に立ち、よりわかりやすい冊子を作成する。 ②まちの美化推進施策としてのカラス被害対策における個別案件対応を踏まえ、地域実情に沿った啓発を強化する。 また、平成29年度に改訂予定の「家庭ごみハンドブック」において、ごみ出しルールの徹底へ向けた新たな視点による掲載内容の充実を図る。	今年度
		①フリーマーケット ②再生資源集団回収報奨金交付 ③再生家具類等の展示・販売 ④スリム・リサイクル宣言の店	環境施設課	①ペDESTリアンデッキで実施(2回) ②報奨金の交付(165団体 回収量3,974t 15,894千円交付) ③リユースフェスタ(展示品数244点 来場者数1,302人) ④市内店舗でスリム・リサイクル宣言の指定を推進(44店)	①JR芦屋駅前ペDESTリアンデッキでフリーマーケットを実施した。(開催月:5月、11月) ②集団回収団体へ回収量1kgにつき4円の報奨金を交付することで資源の有効活用とごみの減量を図った。(交付団体:171団体 回収量:3,894t 報奨金:15,574千円) ③家具類と自転車のリユースフェスタを実施した。(展示品数:204点 来場者数:1,018人) ④市内の指定店において、簡易包装、再資源化などを推進した。(店舗数:42店)	①JR芦屋駅前ペDESTリアンデッキでフリーマーケットを実施した。(開催月:5月、11月) ②集団回収団体へ回収量1kgにつき4円の報奨金を交付することで資源の有効活用とごみの減量を図った。(交付団体:175団体 回収量:3,737t 報奨金:14,948千円) ③家具類と自転車のリユースフェスタを実施した。(展示品数:225点 来場者数:1,815人) ④市内の指定店において、簡易包装、再資源化などを推進した。(店舗数:81店)	④「スリム・リサイクル宣言の店」を100店舗に増やす。	今年度
	リユースフェスタなどのイベントへの参加や「スリム・リサイクル宣言の店」の充実により、3R活動に取り組む	①多様な収集によるリサイクルの促進	収集事業課	①12種別の日常の収集及びさわやか収集を実施。ペットボトル収集拡充のH27.4からの実施に向け、拡充ごみ出しルールの啓発。粗大ごみはリフト車で収集し、家具類など可能なものを再生させ、リユースフェスタに出品した。	①4月からペットボトルの収集回数を拡充するとともに、分別の推進について啓発した。 また、年末ごみの収集日を拡充し市民の利便性向上を図るとともに、その機会に併せて、広報紙やHP等を活用し、ごみ出しルールの徹底へ向けた啓発を強化した。 12分別に基づく家庭ごみの収集及び「さわやか収集」を引き続き実施したほか、粗大ごみはリフト車での「有料」「非破碎」収集により、再生可能な家具類などの再資源化に努め、環境施設課所管のリユースフェスタに寄与した。	①年末ごみの収集日拡充対応を継続実施し、市民の利便性向上を図るとともに、その機会に併せて、広報チャンネル「あしやトライアングル」において、計画的に撮り溜めた収集現場や環境処理センターでの選別作業の映像を使用するとともに、現場作業員自らメッセージを発信する新たな試みによる特集番組を制作し、ごみ出しルールの啓発を推進した。 また、12分別に基づく家庭ごみの収集及び「さわやか収集」を引き続き実施するうち、粗大ごみはリフト車での「有料」「非破碎」収集により、再生可能な家具類などの再資源化に努め、環境施設課所管のリユースフェスタに寄与した。	①リサイクルの促進の観点も踏まえ、これまでに具体化し市民にも浸透している現行の分別区分に基づくごみ出しルールについて、収集作業現場における一層の啓発に努める。	すでに実施
		①建築リサイクル届に対する審査・指導	建築指導課	①建築資材のリサイクルの届出の受理・指導を実施(受理件数149件 通知43件)	①解体工事等に発生する建築資材のリサイクルに関する届出の受理や指導を実施。受理件数159件、通知28件	①解体工事等に発生する建築資材のリサイクルに関する届出の受理や指導を実施。受理件数184件、通知36件	①維持管理項目となるため、現状での改善項目はない。	すでに実施

施策の方向	施策	個別施策・取組	担当課	参考		28年度実績 (又は施策進捗を表す指標等)	29年度以降の取組内容(改善案) ※今年度以降に実施する取組み(改善案)について、必ず記入下さい。	
				26年度(概要)	27年度(概要)			
				実績	実績			
		①家庭用品交換会及び修理会 ②リサイクル教室	地域経済振興課	①交換会、修理会は実施できなかった。 ②古着等で日常に役立つものを作成(1回)	①不要品交換会はリユースフェスタと重複するため統合した。 ②牛乳パックを使用した日常に役立つリサイクル品の実演と作り方の配布を行った。(開催:2回) ③リユース、リサイクルに関するクイズを配布し、広い世代がリサイクルに関心が持てるように働きかけた。	①リユースフェスタを実施。	①引き続き環境施設課と合同でクイズやリサイクル教室を行い、市民のニーズに合わせた啓発事業を進めていく。	今年度
	ごみ処理に伴う環境負荷の低減を図るため、施設・設備の適正な維持管理と保守点検を行う	①環境処理センター運営協議会の開催 ②運転状況結果の公表	環境施設課	①運営協議会の開催(8月29日) ②運転状況結果を広報紙で公表	①運営協議会の開催(8月26日) ②平成27年度の運転状況結果を平成28年6月1日発行の広報あしや環境特集号に掲載した。	①運営協議会の開催(8月24日) ②平成28年度の運転状況結果を平成28年9月1日発行の広報あしや環境特集号に掲載した。	②施設・整備の老朽化の状況を確認し、整備していく。	未定
環境品をや選さぶしい製	グリーン購入や環境保全上のメリットについて学ぶ	①グリーン購入に係る啓発	環境課	施策未実施	①グリーン購入について知ることができるように、グリーン購入に関するHPを作成した。	①グリーン購入について知ることができるように、グリーン購入に関するHPを作成した。	①HPIによる啓発だけではなく、イベント等による啓発が必要。	未定
	グリーン購入対象商品の利用を推進する	①市の購入物品を可能な限りグリーン購入にする	環境課	①率先実行計画の取組みの一つとして、グリーン購入の推進を掲げ、全庁で取り組む	①率先実行計画の取組みの一つとして、グリーン購入の推進を掲げ、全庁的に取り組んでいる。	①率先実行計画の取組みの一つとして、グリーン購入の推進を掲げ、全庁的に取り組んでいる。	①グリーン購入が広まるよう、職員への啓発が必要。	未定
水資源の有効な活用を考える	水循環の確保に配慮した取組の重要性の啓発を進める	①水資源についての啓発	環境課	①H26.6の環境特集号で「水問題を考えよう」という記事を掲載し、水資源の重要性について啓発	①水資源の保全を含め、省資源について知ることができるように、省資源に関するHPを作成した。	①水資源の保全を含め、省資源について知ることができるように、省資源に関するHPを作成した。	①HPIによる啓発だけではなく、イベント等による啓発が必要。	未定
	透水性舗装、雨水浸透柵、雨水貯留施設などの導入により、雨水の有効利用を進める	①透水性舗装の拡充	道路課	①歩道を透水性舗装へ更新(824㎡)	①歩道を透水性舗装へ更新を実施した。(施工面積:1398㎡)	①歩道を透水性舗装へ更新を実施した。(施工面積:1307㎡)	①歩道の改修に合わせ、今後も透水性舗装で更新する。	すでに実施
		①浸透柵・透水管の設置 ②雨水貯留施設の設置者への補助	下水道課	①阪急電鉄以南の区域で、1戸当たり2箇所の浸透柵の設置・500㎡以上の土地については浸透管及び透水性舗装の設置指導 ②雨水貯留施設設置補助(1件)	①阪急電鉄以南の区域において、1戸あたり2箇所の浸透柵の設置・500㎡以上の土地については浸透管及び透水性舗装の設置について指導を行った。 ②平成27年度補助件数11件	①阪急電鉄以南の区域において、1戸あたり2箇所の浸透柵の設置・500㎡以上の土地については浸透管及び透水性舗装の設置について指導を行った。 ②平成28年度補助件数3件	①引き続き指導を行う。 ②引き続き補助を実施する。	すでに実施